



じょうもん えすでいーじーず 縄文とSDGs



北海道庁 縄文世界遺産推進室 特別研究員の阿部千春先生に、縄文と最近話題のSDGsについて聞いてみました

- ◆ ねえねえ阿部先生、続きをはやく！ どうして、縄文は1万年も続いたの？
- ★ 集落を存続させるには、①集落の人々の食糧を確保すること、②その食糧を加工し、貯蔵すること、③食料を加工する道具も含めて、食料残滓を問題が起きないように処理すること、の3点が必要とされているんだ。これは現在の都市文明でも同じだよな。
- ◆ うん、なるほど。ゴミは病気が発生するから特に深刻だったと思うな。
- ★ そうそう。縄文時代のゴミ捨て場として、貝塚や盛土遺構って知ってるでしょ。貝塚は主に貝殻、魚や動物の骨などが堆積し、盛土遺構は主に土器や石器などの道具類が堆積してるんだけど、基本的には同じ性格のものなんだ。両方とも廃棄の後に土をかけて火を焚く儀式をしているし、人の墓も作られているんだ。
- ◆ えー！ ゴミ捨て場に人のお墓をつくるの？
- ★ そう、だから単なるゴミ捨て場ではないんだよね。おそらく縄文時代の人たちは、人間だけでなく、動物や植物、そして道具にも命が宿っていて、その役割が終わると感謝して、その魂をあの世に送るという儀式をしていたと考えられているんだ。それによって、実質的には衛生面で集落を守っていたのかもね。
- ◆ アタマ良い～！ 縄文の知恵だね。あ、そうか、その対局の結果がいまのSDGsなのか。
- ★ じゃあ、次は実際の遺跡から、縄文の暮らしを見てみようか。 <次号へ続く>

北海道・北東北の 縄文遺跡群 デジタルアーカイブ

北海道・北東北の縄文遺跡群に関する情報(写真画像動画、調査研究成果等)を、誰でも無料でダウンロードすることができます。



<https://jomon-japan.jp/archives>

<北海道発> 縄文初心者むけやさしい縄文読本



JOBON

「縄本」のバックナンバーはこちらからダウンロードできます。

www.jomon-do.org/jobon

※本リーフレットは「北の縄文道民会議」公式サイトからダウンロードし、幅広くご活用(印刷、無償配布等)いただけます。ただし価格をつけての販売や内容の変更は禁じます。著作権は制作者に帰属します。詳細はwebサイトにてご確認ください。

<北海道発> 縄文初心者むけやさしい縄文読本 【縄本 JOBON (ジョーボン)】 vol.03「縄文の手しごと」
発行日: 2022年4月1日 / 制作・発行: 北の縄文道民会議、ドニワ部 / デザイン・イラスト: 種田 梓、上田 忠太郎、To.t



JOBONに関するお問合せ
北の縄文道民会議
札幌市中央区大通東1丁目3中央バスターミナル2F
CBツアーズカンパニー内 TEL: 011-221-1122

世界文化遺産の縄文遺跡群に関するお問合せ
北海道環境生活部文化局文化振興課
縄文世界遺産推進室
TEL: 011-204-5168



北海道発

縄文

JOBON

縄文初心者むけ
やさしい縄文読本

縄文の手しごと



vol.03

縄文人の手しごと

道具 tool

自然と向き合いながら、狩猟・漁労・採集を基本に食料を得て暮らした縄文人。身近かにあった動物の骨や角、石、植物を使って、ひとつひとつ手作りした「道具」の数々には、センスがきらり！

日本の「ものづくり」の原点がここに。



※函館市縄文文化交流センターの展示はアートの世界

せきすい 石錘 《漁網のオモリ》



川や海で魚を獲る網の先端にくくりつけた石のオモリ。石には、紐を巻くための溝がついています。

※函館市縄文文化交流センター

釣り針



シカの角などで作られた美しい釣り針。魚の種類や漁法によって、形や大きさが異なり、現代の釣り針につながる「返し」もついています。

※洞爺湖町入江高砂貝塚館

狩猟

せきぞく 石鏃 《弓矢につける》

狩りの必需品「弓矢」。矢の先端につける石鏃（矢じり）は、黒曜石などで丁寧に作られています。



漁労



もりがしら 銚頭 《モリの先端につけて突く》

骨角器で様々な形に作られ、表面に模様があるものも。獲物を刺した後に紐をひくと抜けてくなる細工も見られ、縄文人の知恵がたっぷり！

※洞爺湖町入江高砂貝塚館

手しごとの大切さ

19世紀後半の英国では、「産業革命」によって機械化された工場が大量生産される商品が溢れ、経済は発展していた。一方、手仕事の喜びや職人の誇りは失われた。こうしたなか、ウィリアム・モリスは、芸術と手仕事を通して、人間の尊厳を取り戻そうとする「アーツ&クラフツ運動」を展開した。

現在、私たちは20世紀末の「情報革命」が創り出したインターネットの広大な異空間に暮らしている。そこに人間性は保たれているだろうか。美しさや尊厳は失われていないか。何となく感じている危機感のなかで「縄文」のムーブメントが起きている。この【JOBON】もその一つだろう。

C.Abe

山に入るときはおしゃれな縄文ポシェット！この肩にかけられる網カゴには、クルミが入っていたそうね。※02

ポシェットや背負うタイプのかごは、両手があくから機能的よね。当時は危険もいっぱいだったしね。編み方もいろいろあって、現代でも使われている編み方のほとんどが縄文時代にすでに完成されていたらしいわね。※03

女性は長い髪を編むのが好きじゃない？黒柳徹子さんの髪の中には飴ちゃんが入っているって言うけど。※04 縄文人も編んでまとめた髪の中にどんぐり入れてたとか！



どんぐり入れてたかどうかはともかく(笑)、髪を編むって発想から、植物を編んでカゴが生まれたかもってこと？それはおもしろい！

そろそろアクセサリーに行きましょ！縄文人がおしゃれだったって言われるのは、ヒスイとかの綺麗な石や骨、貝なんかでできたアクセサリーがたくさん出土してるからでしょ？これ、いつ身につけてたと思う？一般的には祭祀の時みたい「ハレの日」につけていたんじゃないかって言われているけど。

私は、石のネックレスや漆の櫛はハレの日に。普段は、その辺に生えてる花や草を編んで腕や足に巻いたり髪飾りにしたりして、気軽におしゃれを楽しんでいたんじゃないかなと思うんだけど。

普段はそれぞれ作業の邪魔にならない場所につけていたんじゃない？狩りをするとき音か鳴るものとか匂いがするものはつけられないだろうし。土器づくりの人は、腕輪はしない、木の実を拾いに行く人は、ナイフを首からぶら下げるからネックレスはしないとか…

確かに。そういえば指輪ってあまり出てこないわよね。指につけてるとじゃまなのかしら。

そうかもー。そもそもアクセサリーって誰が何のために作ったの？自分用？集落用？男性が作って意中の女性に贈ったとか？

男性からのプレゼントだったら、いろんな意味で「重」くてちょっと引くかも…。石や貝のネックレスとかだと「これ、一体何年かけて作った訳…」って感じで、受け取るの躊躇しちゃいそう…。



石に穴をあける作業って大変なもの、さすがにみんなで分業してたんじゃない？集落の大人達が穴をあけた石を持ち寄ってネックレスをつくって、新成人にプレゼントするとか。当時は子供の死亡率も高かったし、立派な大人になるのはとても喜ばしいことだったんじゃないかしら。



そっちのほうがなんか平和でいい！

石や土でできた耳飾りは、ピアスの穴に成長するごとに徐々に大きいのを付けていていたらいいわね。だんだんエスカレートして、ちょっとありえない大きさの耳飾りもでてるけど、これって大きい方がモテるとか、そういうのあるのかしら？

縄文人の「モテ」については、いつかじっくりテーマにしましょう！

きゃー！お待ちかねの恋バナね！！

まあまあ落ち着いて…(笑) いやーそれにしても、縄文人の「手しごと」、なかなか深かった。

黒曜石やアオトラ石みたいに、他の地域でも人気が高い優れた原材料が北海道から産出されているのもちょっと嬉しい！縄文時代から「北海道ブランド」ってあったのね。

今までさっさと通り過ぎてたから、改めて道具やアクセサリーをじっくり見たくなっちゃった。

よし、次こそホントに女子旅よ！

もー、待ちきれない！早く行きましょ！！

(つづ)

※01：最近各施設で石鏃の展示方法も素敵どころが多いですが、函館市縄文文化交流センターは2011年のオープン時から、美しく並べられた石鏃の展示がカッコイイと評判。p1 写真参照 ※02：青森県三内丸山遺跡で出土した、ヒノキ科の樹皮を編んで作られた肩から上げられるようになっている小さなかご。植物性の製品は時間とともに分解されて遺物としてなかなか残らないのでとても貴重。p2 写真参照 ※03：縄文時代の編み物：ちなみに※02の縄文ポシェットは「網代編み（あじろあみ）」という方法で編まれているそう。 ※04：黒柳徹子さんの髪の中の髪の中に入れてあげられるために飴ちゃんが入っているらしい。おせんべいやどら焼きが入っていることもあるらしい。海外に行く時はパスポートや大事な書類を髪の毛の中に入れておくこともあるという。参照：Wikipedia

★【縄文女子の妄想トーク】は、縄文をこよなく愛する縄文女子たちの個人の主観に基づく妄想トークがメインになっています。学術的に正しいかどうかは置いておいて、素人目線の「こうだったのかな」「こうだったらいいな」という妄想ワールドを、どうか生暖かい目で見守っていただけたら嬉しいです。